

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	盛岡市	代表者名	谷藤裕明
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	019-626-7514
担当者役職	主査	担当者氏名	八重樫知久
住所	020-8530 岩手県盛岡市内丸12-2		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	オープンデータに関する講義のフォローアップ（受講者アンケートの回答内容への助言）や、当市のデータ活用推進に関する助言等をいただくことができた。その内容が、全国さまざまな自治体の事例やアドバイザー御自身の経験を踏まえたものであったことから、非常に納得できるものであったため。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月27日	16時00分	17時30分		90
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 情報企画課、企画調整課職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）</p> <p>制度活用2日目においてオープンデータ化推進のための職員研修を実施し、受講した職員から追加的に生じた疑問や新たな課題等への対応が必要となった。</p> <p>支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）</p> <p>上記で生じた疑問等に対して、アドバイザーから助言を受け、質問者へ回答するとともに、推進すべき方向性等を見出すこと。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）</p> <p>制度活用2日目において実施した職員研修後、受講者から「介護保険について、国でも同じデータを公開しているのに、市町村でも同じデータを作成して公開することは無駄ではないか」といった疑問に対し「市町村から国へ上げるデータは、国が公表するまでのタイムラグが発生する。また、更新頻度が「年に一度」といったものもある。民間側にニーズがあるデータは、国に先行して市町村が公開したり、毎月更新したりするなど、自発的に公開していくことも大切である」といったアドバイスをいただいた。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）</p> <p>市が持つ古いデータを遡ってデータ化、公表していくのではなく、これから新しく作成・公表するものから順次オープンデータとして対応していくという統計局の方針を紹介された。その方法であれば、さほど負担感なく進められるのと思われるため、今後庁内に働き掛けていく場合の参考とする。</p> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p>	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

